

## 低温注意！危険期の最後まで深水を続けましょう

水稻の生育は平年よりやや遅れており、現在冷害危険期の真っ最中となっております。

札幌管区气象台より7月16日～22日までの気温が平年より低くなる確率が50%になるとの予報が出されました。

日中気温が高いからと油断せず、低温

から幼穂を保護するため、冷害危険期の終わり（70～80%程度の茎の葉耳間長が+5cm となる時。下図）までは十分な水深（18～20cm）を確保しましょう。

冷害危険期は来週中盤ごろには終了する見込みですが、さらに遅れているほ場も多く見られます。最後までしっかり深水にしてください。

地域では用水が不足しているところがあります。できるだけ水下に配慮しながら計画的に入水してください。水を急激に入れると、水温が下がり逆効果となります。水は少しずつ入れ、極力深水にして保温に努めましょう。水尻や畦からの漏水を防ぎ、かけ流しには絶対にしないでください。

気象庁 北海道日本海側地方の気温予報  
(7月16日から7月22日までの天候見通し)

低い

平年並

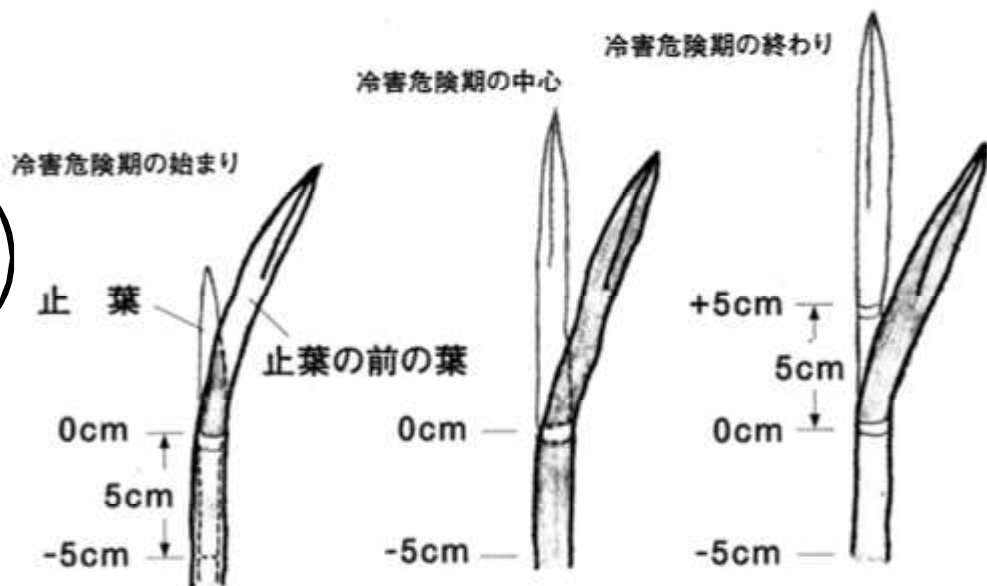
高い

50

40

10

葉耳間長+5cm  
の茎が1株の中  
で70～80%とな  
ってから落水



### ▲葉耳間長から判断できる冷害危険期

※この情報は士別地区(士別市・和寒町・剣淵町)を対象にしたものです。その他の地区には適用できませんのでご注意ください。